

モノコトイノベーション
Mono-Coto Innovation 2016 山形決勝大会

日本の未来を担う中高生のアイデアコンテスト「Mono-Coto Innovation 2016」山形決勝大会が、12月10日（土）、山形銀行本店で行われました。8月21日（日）の山形大会予選を通過した12チームによるプレゼンテーション審査が行われ、全国決勝に出場する4チームが決定しました。

企業から提示されたテーマに対し、中高生がチームを組んでアイデアを形にしていきます。今回、県内企業から提示された課題テーマは、以下のとおりです。

株式会社 I B U K I

「キャンプでもやりたい！キャンプだからこそ使いたい！そんな〇〇」

株式会社でん六

「同年代（中高生）が食べたくなる・手に取りたくなる豆菓子」

後藤電子株式会社

「振動エキサイターを用いた次世代型スピーカー」

Spiber 株式会社

「新しいカリキュラムの創造」

山形決勝大会に出場した12チームのうち、山形西高生が参加したチームは、以下の3チームです（[]内はテーマ企業名）。

でん七 [株式会社でん六]

H I T [後藤電子株式会社]

S U N [後藤電子株式会社]

8月の予選以降、各チームとも時間や距離などの制約がある中、ワークショップなどを通じてさらにアイデアを磨いていきました。

このたびの山形決勝大会において、西高生が参加した3チームのうち、「H I T」が見事全国決勝への出場を決めました。「H I T」は、国立鶴岡工業高等専門学校（国鶴）の学生2名と山形西高生1名で構成され、交通事故を防ぐためのアイデアとして、警告を音と光で伝える看板型のスピーカーを作成し、プレゼンテーションで披露しました。

全国決勝は、平成29年4月1日（土）、東京都の日本科学未来館で開催されます。

